

青少年教育者ためのSTEPUPセミナー②～夏編～

【期日】 (1) 2025/6/14 (2) 2025/7/1

【対象者】 青少年教育施設職員、社会教育関係職員、学校教育関係職員、ボランティア等

【参加人数／募集人数】 (1) 4名 (2) 14名 ／ 各回20名



I. 趣旨

(1) 「大雪ジオハイキング体験会」：大雪の提供プログラム「ジオハイキング」を体験し、学校や団体の研修プログラム作成の参考にして頂く。

(2) 「夏の安全管理研修」：指導者として安全管理の基本やその重要性について理解し、安全意識の向上を図るとともに、夏の体験活動を利用者に提供する際の安全管理の方法について、講義と実践を通して学ぶ。

2. プログラム内容

①大雪ジオハイキング体験会

日付	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
6月14日			9:00～9:15集合 受付式	開会式	小松原森林コース マグマ越えコース	アンケート記入・解散								

※午後から宿泊研修の事前打合せも可能です。
ご希望の方は申込フォームからお申込み下さい。

②夏の安全管理研修

日付	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
7月1日			9:45～10:00集合 受付式	開会式	講義	昼食 (持参)	演習 (交流の家周辺フィールド)	閉会式						

※前泊、後泊可能です。ご希望の方は、申込フォームからお申込み下さい。

3. 活動内容

①「大雪ジオハイキング体験会」マグマ越えコース

大雪で提供しているプログラム「ジオマップハイキング」のマグマ越えコースを十勝岳ジオパークガイドの方や、法人ボランティアに体験してもらった。



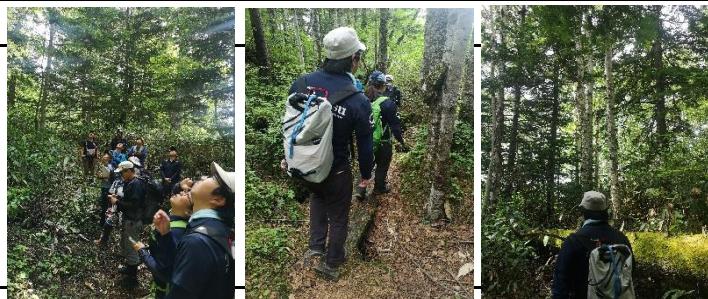
②「夏の安全管理研修」夏の体験活動における安全管理について

指導者やガイドとして、登山やハイキングなどの夏の自然体験活動を利用者に提供する際の、基本的な安全管理の知識やその重要性について、講義やグループワークを通して学んだ。



④「夏の安全管理研修」安全管理の演習

実際に施設周辺のハイキングコースを歩き、活動中に考えられるリスクについて洗い出した。その後、研修室でリスクに対する対応策をグループごとに話し合い、全体で共有した。



4. アンケート結果

質問：事業全体に対しての満足度をお答えください。（人）

たいへん満足	やや満足	やや不満	たいへん不満
(1) 4人	(2) 4人	0	0

5. 参加者の声

(1) 「大雪ジオハイキング体験会」

- ・溶岩の形成や流出してから、どのように固まり、森にどのような影響をもたらすのか、詳しく説明してくれたので、理解を深めることができました。
- ・色々なところを見れたけれど、やっぱり3、300年前の溶岩を登る時にあった大きな岩が危ないけど楽しいと思った。
- ・風穴についてたくさん学べて楽しかったです。また参加したいです。
- ・自然を五感で感じる事ができて楽しかったです。また家族で歩きたいと思いました。

(2) 「夏の安全管理研修」

- ・自分の甘さや準備不足を見つめ直し、楽しさと厳しさを伝えることのできるガイドを目指します。
- ・リスクの洗い出しの方法が、とても分かりやすかったです。
- ・もっと深く学びたくなりました。

6. 事業の成果

(1) 「大雪ジオハイキング体験会」

普段、ジオマップハイキングを利用するものは学校団体がほとんどなので、事業を通して法人ボランティアや十勝岳ジオパークガイドの方に提供できたのは良かった。今回の体験会を経て、ボランティアが研修支援などでジオマップハイキングを提供する際のサポートに入ってもらうこともできるので、スキルアップの研修としても効果的であった。

(2) 「夏の安全管理研修」

自然の中で体験活動を提供するということは、さまざまなりスクがあり、リスクゼロを目指すのではなく、そのリスクをコントロールしながら提供していくことが肝要であると学んだ。職員研修も兼ねて実施したので、今後のプログラム提供に活かすことができて良かった。